

授業視察を通して広がる学び

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

10月23日、沖縄から3名の先生が本校の授業視察にお越しくださいました。これまでを振り返ると、県外では北海道、岩手、埼玉、東京、福岡、沖縄から、県内では津久見市、大分市、別府市、宇佐市など、多くの先生に本校の授業を見ていただいています。体育専科という特性もありますが、授業を見ていただけることを、指導者として大変ありがたく感じています。

今回は、「授業視察のもつメリット」について考えてみたいと思います。

① 子どもたちにとっての良い影響

他の先生が自分たちの授業を見に来てくださることは、子どもたちにとって「自分の学び方や学校を肯定的にとらえる」きっかけになります。「見てもらえる」という経験は、子どもたちの自信や意欲にもつながっています。



② 自分の授業を客観的に見直せる

授業を視察していただくことで、自分では気づきにくい指導の癖やパターンが見えてきます。特に体育の授業では、「子どもの動き」「指導者の声かけ」「安全配慮」など、多くの要素が複雑に関わります。第三者の視点が入ることで、

- ・ 指導のテンポや言葉かけの質
- ・ 子どもの活動の質
- ・ 授業構成の流れ

などを客観的に振り返ることができ、日々の授業改善につながっています。



③ 校外の先生との学び合いが生まれる

授業視察を通して、校内だけでなく、他の学校や地域の先生とつながることができます。こうしたつながりは、その後の情報共有や意見交換のきっかけとなり、自分の専門性を高めてくれます。

たとえば、

- 他地区の先生と関係ができることで、自分が行ったことのない授業や単元の情報を得やすくなる。
- 授業づくりに困ったとき、具体的な実践例や教材情報を交換できる。

このように、授業視察をきっかけに生まれたつながりは一度きりでは終わらず、その後も続く「学び合いのネットワーク」として機能しています。



まとめ 一子どもたちに還元される学び—

授業視察によって得られた気づきや学びは、最終的にはすべて子どもたちの成長に還元されます。これからも子どもたちのために、「ともに学び合える授業」を目指していきます。



ご関心のある方は、ぜひお気軽に高瀬小の体育授業、保健授業を見にいらしてください。